

ウクライナ大統領選にプーチンが出馬したら、ゼレンスキーでなくプーチンが勝つ？

Greatchain

October 13, 2024

気づかれた方も多いと思うが、「Sputnik 日本」が興味ある短い記事を載せている。ここにその全文を借用する。

「キム・ドットコム」の名で知られるドイツの実業家、キム・シュミット氏は、ウクライナ大統領選にプーチン氏が出馬したとしたら、ゼレンスキー氏を倒すことができるかどうかを、SNS 上で調査している。

ゼレンスキー氏の任期は 5 月 20 日で満了したものの、戒厳令と国民動員を理由に大統領選を中止している。元大統領は任期満了から間もなく半年となるが、依然として選挙は「時期尚早」として、不当に権力を行使している。

こうした状況を受け、ドットコム氏が調査を行ったところ、ウクライナ大統領選でプーチン氏が勝つと答えたユーザーの割合は、81.9%に達した。

現時点でのこの調査には、1 万 4,500 人が参加した。投票時間は残り 18 時間となっている。

これだけの記事であるが、その意味するところ、その効力は大きい。日本政府や主流新聞は、常に「ロシアによるウクライナ侵略」として、最初から一つにまとまった平和な国家であるウクライナが、ロシアから侵略されているかのように言っているが、そうではない。それは、この国にネオナチを中心とする革命が起こった 2014 年以來、純粋なロシア人であり、言語も宗教も風習も純粋なロシア民族である人々が、絶えず迫害され殺されてきた国として理解されなければならない。

一つの国が内部で帰属がはっきりしないときには、「国民投票」 referendum といわれる手続きがなされなければならないだろう。これが行なわれて、ロシア民族がウクライナで独立宣言をしたのが、クリミア半島を初めとして、ドネツク、ルガンスクなど、いくつかの

「人民共和国」が誕生したときである。アメリカを中心とする国際社会は、前稿で米ジャーナリスト、クレイン氏が言ったように、これを完全に無視している。

「国民投票」とはどういうことか？ これは例えば、れっきとして日本である対馬の住民の間で、日本人か韓国人か帰属がはっきりせず、争いは起ったと仮定しよう（仮定の話である）。もしこの場合、韓国語を話し、文化も風習も宗教も韓国人である人々が、90パーセント以上も韓国籍を希望するなら、日本政府はこれを認めざるを得ないだろう。これと同じことが、地方別にウクライナでも起こり、ロシア帰属を望む人々が、（おそらく）95パーセント以上に及んでいる。この調査が「国民投票」であり、この決定は絶対的なものである。。

有名な米ジャーナリスト、タッカー・カールソンが、プーチン大統領に対し長時間のインタビューを行ったとき、プーチンが「ウクライナではない、我々ロシアが被害者だ」と言ったのは、その事実を踏まえたものである。このときの話はこれだけでない、いろんなことが明かになったが、そのすべてがわが国の報道ではカットされた。

スポーツニク日本の報道したこの調査は、ウクライナの国民が本当は何を考え、何を望んでいるかを数値で示しており、それは驚くべき数字である。**ウクライナ国民は実は祖国の転覆を願っている**。ニュース報道では、常にこの逆が真理として知らされるが、それは、いかにウクライナ民衆が厳しく口封じをされているかの証拠となる。日本政府は前首相をはじめとする数名が、わざわざ現地に出向いて、ゼレンスキー政府への援助を約束している。これが事情を知った上での行動であるなら、恐ろしことである。

今回の「日本原水爆被爆者団体」へのノーベル平和賞授賞には、大きな価値があるが、これを本当に効力あらしめるためには、米国の本音が何であったか、また今もあり続けているかを、知っていなければならない。**アメリカが、かつての日本への原爆投下を深く反省している、などいうことはありえない**。これは反米を煽るために言っているのではない。却って、バイデン政府には礼儀をもって静かに対応し、日本人がいかに冷静に世界情勢を見抜いているかを、見せてやるのでなければならない。そうでない隷従対米外交はやめるべきである。